



えどじだい おおさか う  
**江戸時代に大阪で生まれ、**  
いま つづ **今も続いている人形芝居**  
**ってなあに？**

こた **答えはうらめん**で！



しゅってん きょういくようがぞうそざいしゅう  
出典：IPA「教育用画像素材集サイト」 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>

こたえ ぶんらく にんぎょうじょうり え どじだい じょうり しゃみせん  
答：文楽(人形浄瑠璃)です。江戸時代に、浄瑠璃、三味線、  
にんぎょう みっ わざ が で あ っ て う ま れ ま し た 。 2003年 11月 ユネ  
スコ 無形世界遺産に選ばれました。

## しらべてみよう！

にほん でんとうげいのう たの ぶんらく いわさきかまこ ちよ かいせいしゃ  
『日本の伝統芸能を楽しむ [4] 文楽』(岩崎和子/著 偕成社  
2017.4 J772/8N/4)

たゆう しゃみせん にんぎょう ぶんらく きそちしき わ かいせつ ほん  
太夫・三味線・人形など文楽の基礎知識を分かりやすく解説した本。  
ぶんらく ぶたい にんぎょう かしら にんき ばめん しゃしん しょうかい  
文楽の舞台や人形の首、人気の場面を写真やイラストで紹介してい  
ます。人形の衣裳や髪結い、小道具やお囃子など文楽を支えている人  
たちの仕事についても載っています。(中学年～)

きりたけかんじゅうろう ぶんらく み しんばんにほん でんとうげいのう  
『桐竹勘十郎と文楽を観よう(新版日本の伝統芸能はおもしろ  
い)』(小野幸恵/著 きりたけかんじゅうろう かんしゅう いわさきしょてん  
2015.2 J777/10N)

ぶんらく にんぎょうつか だいひょう きりたけかんじゅうろう あんない ぶんらく せかい  
文楽の人形遣いを代表する桐竹勘十郎が案内する文楽の世界。  
かんじゅうろうせんせい えんもく にんぎょうつか りゆう わ  
勘十郎先生のおすすめの演目や人形遣いになった理由も分かります。  
こうがくねん  
(高学年～)

ものがたり まな にほん でんとうげいのう ぶんらく ひらしまたかみ かんしゅう  
『物語で学ぶ日本の伝統芸能 4 文楽』(平島高文/監修 くもん  
しゅっぱん  
出版 2004.4 J772/6N/4)

ぶんらく さくひん を てん とりあげています。さくひん のあらすじに ぐわ え、たくさ  
んのカラー写真や図を使って舞台の様子や豆知識も紹介しています。  
こうがくねん  
(高学年～)

## いってみよう！

こくりつぶんらくげきじょう でんわばんごう  
「国立文楽劇場」(電話番号：06-6212-2531)

まいとしなつやす おやこげきじょう な ちやがま さいゆうき  
毎年夏休みには、親子劇場と名づけて、「ぶんぶく茶釜」「西遊記」  
など お ぎ さくひん じょうえん ぶんらく かいせつ  
等こども向けの作品を上演し、文楽についての解説もしています。